

令和4年 日本手術看護学会北海道地区

セミナーⅣ「看護倫理」 報告

11月19日（土）Zoomによるオンライン形式でセミナーⅣ「看護倫理」を開催し、14名の参加がありました。

「看護倫理に関する知識を深め、より良い看護の実践に向けて行動する能力を養う」ことを目的に、手術看護認定看護師2名の先生による講義とグループワークを行いました。

市立旭川病院 中西香織先生からは、倫理に関する基本的知識と看護倫理綱領および医療の倫理原則、手術室における倫理的問題の特徴について講義をしていただきました。参加者からは、「普段行っている何気ない業務も倫理的に考えると色々な要素があることを学んだ」「自分の1つ1つの行動を見直すきっかけになる講義でした」などの感想があり、参加者全員から参考になったと回答をいただきました。

JA北海道厚生連旭川厚生病院 渡邊幸裕先生からは、手術室における倫理事例検討の必要性と4分割法を用いた検討の流れに関する講義と事例を提供していただき、その後4～5人グループに分かれて事例検討を行いました。各グループ活発に意見交換されており、看護師の関わりに至る検討プロセスを経験することができました。参加者からは、「グループワークを通して他者の意見を共有でき有意義であった」「看護倫理に苦手意識があったが、普段の仕事の中に感じている漠然とした疑問を分析してみる手段がわかった」などの感想があり、参加者全員から参考になったと回答をいただき、大変盛況に終えることができました。

多くの方が、本セミナーの内容に興味を持って参加したと回答しており、各施設における倫理的課題への取り組みに向けた関心が高いことが伺えました。日本手術看護学会北海道地区では、今後も皆様のご意見を参考に、興味を持っていただけるようなセミナーを企画してまいります。皆様の参加を役員一同、心よりお待ちしております。

